

V 国際協力銀行が対処すべき課題

国際協力銀行は、我が国政府の対外経済政策の適切な実施を担う唯一の政策金融機関として、特に以下の課題に取り組んでいく。

1. 基本的課題

1. 民間金融機関の補完・奨励の徹底を原則とする業務の不断の見直し
2. 効果的な政策実現を図るための多様な金融手段の有機的な活用
3. 環境問題に対する配慮の徹底及び環境改善案件への積極的取り組み
4. 業務運営についての評価制度の推進
5. 情報公開・広報活動の推進
6. 各種リスクの適切な把握及び管理

2. 事業分野毎の課題

1. 国際金融秩序安定への貢献

- (1) アジア地域における市場の信認回復のための健全な経済運営に対する支援強化
- (2) アジア各国のマクロ経済動向に関するモニタリング強化
- (3) アジア各国の国際金融市場における資金調達支援
(国際金融危機が発生した場合、あるいは危機に繋がる事象が発生した場合のものとして念頭に置く課題)
- (4) 効果的・効率的な危機收拾支援のための国際機関等との連携強化
- (5) 早期危機收拾のための積極的貢献
- (6) 社会的弱者への配慮の強化
- (7) 危機收拾のための民間資金の活用
- (8) 危機收拾支援の迅速な実施

2. 開発途上国の経済社会開発支援

- (1) アジアを中心とした各国の多様な開発ニーズを踏まえた選択的な支援の推進
- (2) 貧困削減への対応の強化
- (3) 開発途上国の経済的自立に必要な民間経済活動を推進する支援
- (4) 知的協力の推進
- (5) 我が国国民の参加と他の援助形態・機関等との連携による開かれた円借款業務の推進
- (6) 円借款業務の質の向上

3. 我が国の資源の安定確保

- (1) 我が国としてのエネルギー・鉱物資源の確保
- (2) 高リスク・巨額な資源案件への適切な対応

4. 我が国の資本・技術集約型輸出の支援

- (1) 日本企業の輸出競争力の確保
- (2) 日本企業の輸出機会の創出
- (3) 我が国の競争力を確保する公的輸出信用制度の構築

5. 我が国産業の国際的事業展開の支援

- (1) 開発途上国における日本企業の事業機会の創出
- (2) 日本企業のニーズを反映した開発途上国における経済インフラ整備および投資関連諸制度の整備支援
- (3) 日本企業のニーズを反映した開発途上国における裾野産業の育成
- (4) 開発途上国の経済情勢等の環境変化への機動的対応

6. 開発途上国の地球規模問題への対応支援

- (1) 開発途上国政府による地球温暖化対策と我が国の酸性雨問題を軽減する対策への支援の拡充
- (2) 我が国企業を通じた地球温暖化対策への支援の拡充
- (3) 地球温暖化と酸性雨対策以外の地球規模問題への対応の強化
- (4) 地球規模問題に関する技術・知見を有する我が国内外の研究機関・国際機関・企業・NGO等の関係機関との知的連携の強化